

1

平成24年度

新培養システムを導入し、サナギタケ冬虫夏草の大量安定生産を確立

サナギタケ冬虫夏草は、健康食品として広く知られているが、安定的な生産が難しいのが課題である。補助金によりサナギタケ冬虫夏草生産のための「温度・湿度制御無菌周年培養システム」を導入した結果、安定的に冬虫夏草を大量生産することが可能となった。増産体制を整え、地域の遊休施設の活用や雇用拡大を目指す。

株式会社峯樹木園

- 代表者／代表取締役 峯 由知
- 設立／昭和60年11月9日
- 所在地／合志市野々島4393番地54
- 資本金／1,000万円
- 従業員数／12人
- 業種／その他耕種農業
- TEL／096-242-1045
- FAX／096-242-3789
- URL／<http://www.minejumokuen.co.jp/>

事業課題と申請の経緯

安定的な生産が難しい冬虫夏草

当社は、サナギタケ冬虫夏草(C.militaris)の大量安定生産を目指した。冬虫夏草は日本では健康食品として用いられているが、中国の天然冬虫夏草(C.sinensis)は薬用のキノコとしての歴史が長く、最高の上薬(副作用がなくゆっくりと確実に人体に働きかける薬)として認められてきた。また、1997年には中国政府により医薬品として認定されている。中国の天然冬虫夏草が枯渇する中、近年注目を

集めている虫草菌が蚕のサナギなどを宿主として生育するサナギタケ冬虫夏草であるが、安定的に生産するのが難しいとされてきた。地域資源である「桑」の有効活用の一環として蚕の無菌周年養蚕システムを導入して無菌蚕の飼育に取り組んでいた当社は、無菌周年養蚕システムと冬虫夏草の培養技術を融合させる「昆虫生体培養システム」で、サナギタケ冬虫夏草の安定生産に取り組んだ。



松原無菌周年養蚕システム



有効成分が豊富なサナギタケ冬虫夏草

課題解決のプロセスと成果

有効成分豊富な冬虫夏草の安定生産の実現

世界的にサナギタケ冬虫夏草の需要が拡大している中、冬虫夏草の安定生産を実現するため、当社は無菌周年養蚕システムと冬虫夏草の培養技術を融合させる「昆虫生体培養システム」を確立することによって、世界で初めて無菌蚕からの高品質の冬虫夏草の安定生産に成功した。この成功を

支えたのは、IC工場並みの清浄性を備えた無菌室並びに機械設備の充実のほか、冬虫夏草培養のための宿主である無菌蚕の安定供給を年間を通じて可能にした無菌周年養蚕システム技術の確立、そして、虫草菌の宿主への接種技術の改善・改良を含めた昆虫生体培養システムの確立である。

今後の展望

東アジアなどの海外へも販売を

今回、当社が試作開発に取り組んだサナギタケ冬虫夏草生産のための「温度・湿度制御無菌周年培養システム」を用いることで、安定的に冬虫夏草を大量に生産することが実証できた。今後、生産規模の拡大等の低コスト化や培養技術・環境の改善で、より顧客満足度の高い価格・品質を目指していきたい。また、東アジ

アに拠点を置く販売商社や、国内メーカー、百貨店・専門店などとの商談が成立し、昨年度より販売を開始した。冬虫夏草に関心の高い東アジアを中心とした海外への輸出販売をさらに強化する目的で、増産体制を計画している。今後は日本のみならず、世界へと発信していきたい。

求める事業パートナーと支援策

地元の雇用を増やし、地域活性化の一助に

当事業の成果により、補助事業終了後の4年目以降には、冬虫夏草の生産並びに冬虫夏草関連商品を含めた新規事業を、当社のコア事業に成長させ、地域内から若者を中心に確保したいと考えている。

また、地域内には耕作放棄地の拡大や、製造業関連の施設・倉庫が利用されずに遊休化しているので、これら地域資源・施設を地域経済発展のために再活用するよう、関係機関・団体等と連携して進めていく。



商品化した「峯王 冬虫夏草」

増産体制を整え、
地域の若者たちを
積極的に採用したい
ですね

会長 峯 隆吉氏